

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期庄原市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県庄原市

3 地域再生計画の区域

広島県庄原市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、昭和22年の92,240人をピークに減少しており、住民基本台帳によると令和7年9月末には30,552人まで落ち込んでいる。

国立社会保障・人口問題研究所によると、令和22年には総人口が22,175人となる見込みである。

年齢3区分別の人口推移については、生産年齢人口及び年少人口が減少し、令和7年9月末にはそれぞれ14,023人、2,818人となっており、増加傾向にあった老年人口においても、平成17年をピークに減少しており、令和7年9月末に13,711人となっている。

庄原市は平成17年に1市6町が合併しており、自然動態をみると、合併以降、出生者が死亡者を下回る状況が続いており、令和6年には563人の自然減となっている。

合計特殊出生率も低下傾向にあり、平成30年～令和4年は1.59となっている。

社会動態をみると、合併以降、転入者が転出者を下回る状況が続いており、令和6年には256人の社会減となっている。

今後も人口減少や少子高齢化の急速な進行により、市税や地方交付税の減収、地域産業の衰退、集落機能の低下、公共施設や医療サービスの維持困難等といった課題が想定され、市民の生活不安が増大し、地域の将来に影響を及ぼす懸念が生じている。

人口減少社会に適応し、持続可能な地域社会を実現するため、以下の取組を進める。

まずは、誰もが将来に希望が持てるよう、安心な暮らしの充実を図る。医療・福祉の充実や安全・防災対策の強化、交通ネットワークの確保を通じて、市民一人ひとりが安心して暮らせる環境を整備する。住民自治と官民連携により、地域の暮らしの基盤を守り、地域経済の循環促進を図る。

次に、庄原で暮らし働くことに魅力を感じられるよう、産業構造の転換による基盤産業の確立に取り組む。安定した雇用を創出し、人口の維持と関係人口の増加を図り、地域経済の好循環を実現し、将来につながる経済発展を目指す。

最後に、安心な暮らしと経済の好循環を支える基盤として、人的資源の育成を推進する。子どもから高齢者までが生涯にわたり学び続け、ふるさとへの愛着を育みながらグローバルな視点で活躍できる人材の育成を推進する。

なお、これらの取組を進めるにあたり、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、将来像の達成を図る。

○将来像

安心な暮らしが充実し、庄原に関わる人の未来がつながっていくまち

○基本目標

- ・基本目標 1 安心な暮らしの充実
- ・基本目標 2 将来に希望がつながっていく仕組みづくり
- ・基本目標 3 市民の期待に応え、将来を担う人的資源の育成

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和11年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.59	1.60以上	基本目標 1
	要支援・要介護認定を初めて受けた年齢の平均	83.1歳	83.8歳以上	
	市民の幸福度	6.1	6.5以上	

	75歳以上の高齢者の内「交通手段がないため外出できなかったことがよくある人」の割合	3.1%	3.1%以上	
	「治安がよい」と思う市民の割合	54.1%	54.1%以上	
イ	経営耕地面積	4,412ha	3,750ha以上	基本目標 2
	素材生産量	108,000m ²	130,000m ² 以上	
	観光消費額	4,616,940千円	6,524,440千円以上	
	第一次・第二次産業の総生産額	46,557,000千円	53,228,000千円以上	
	関係人口（庄原ファンクラブ会員数）	2,963人	6,500人以上	
ウ	児童生徒学習意識等調査における「自分が住んでいる地域が好き」と答えた割合	小学校91.5% 中学校78.2%	県平均以上	基本目標 3
	全国体力・運動能力調査における市平均が全国平均以上の種目数（全8種目）	小学校男女 7種目 中学校男女 6種目	小中学校 6種目以上	
	県立広島大学庄原キャンパス市民公開講座1回あたりの定員に占める受講者数の割合	66.5%	68.0%以上	
	育成就労制度による定着人数	0人	200人以上	

	スポーツ、芸術・文化分野における全国大会などへの出場人数	スポーツ 90人 芸術・文化 11人	スポーツ 92人以上 芸術・文化 13人以上	
--	------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	--

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

庄原市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 安心な暮らしの充実につながる事業

イ 将来の希望につながっていく仕組みづくりにつながる事業

ウ 市民の期待に応え、将来を担う人的資源の育成につながる事業

② 事業の内容

ア 安心な暮らしの充実につながる事業

子育て環境の整備や高齢者・障がい者を含むすべての住民が安心して暮らせる福祉・介護サービスの充実、健康増進と医療体制の強化、公共インフラや交通手段の維持・整備を通じて、安全で利便性の高い生活基盤を構築する。さらに、地域経済の活性化を図り、犯罪抑止と災害に強い安全安心なまちづくりを推進するとともに、住民自治の醸成や多様な個人を尊重する包摂的な社会の実現を目指す事業。

【具体的な事業】

・ 子育て世代包括支援センター事業

・ 周産期医療運営補助事業

・ 高齢者活動推進事業 等

イ 将来に希望がつながっていく仕組みづくりにつながる事業

地域の伝統ある農林業や商工業の基盤強化と観光振興を軸に、産学官が連携したイノベーション創出や移住・定住促進により、持続可能で希望あふれる地域経済の発展とにぎわいを創出する事業。

【具体的な事業】

- ・ 庄原ファンクラブ事業
- ・ 比婆牛ブランド化推進事業
- ・ 企業立地対策事業（サテライトオフィス誘致事業含む） 等

ウ 市民の期待に応え、将来を担う人的資源の育成につながる事業

質の高い教育環境の整備と生涯学習の推進を通じて、次代を担う多様な人材の育成を図るとともに、ふるさとへの愛着と国際的な視野を持った市民が活躍できる環境づくりを推進する事業。

【具体的な事業】

- ・ 学校施設・設備の充実事業
- ・ 県立広島大学市民公開講座事業
- ・ 県立高校の魅力向上事業 等

※なお、詳細は第3期庄原市長期総合計画のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

200,000千円（令和8年度～令和11年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月に外部有識者を交えた効果検証を行い、検証後速やかに庄原市ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

令和8年4月1日から令和12年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和12年3月31日まで